

自然的環境の分布（緑の現況）経年変化調査の結果概要

「川崎市緑の基本計画」では、樹木の集団（300 m²以上のまとまりのある樹林地）、農地、河川等、運河の4つの自然的環境資源について航空写真等により把握し、自然的環境の分布を緑の現況として示しています。

平成28年に行った前回の調査から5年経過した令和3年1月1日の状況について再調査し、自然的環境の分布の更新を行いました。

【調査結果】

一部では、樹木の生長や民有地の緑化等により樹木の集団の面積が増加している箇所も見られ「樹木の集団」については、ほぼ横ばいの2.5ha増となりました。また、「農地」については、川崎区を除く各区で減少がみられ、宅地や空き地等への土地利用の転換により、農地が約30ha減少しました。

自然的環境の経年変化量

自然的環境資源	2016（平成28）年		2021（令和3）年	
	面積（ha）	割合（％）	面積（ha）	割合（％）
樹木の集団	約 1,002	6.9	約 1,005	7.0
農地	約 580	4.0	約 530	3.7
河川等	約 755	5.2	約 755	5.2
運河	約 1,222	8.5	約 1,222	8.5

※市域面積：14,435ha、農地面積は固定資産税概要調書による